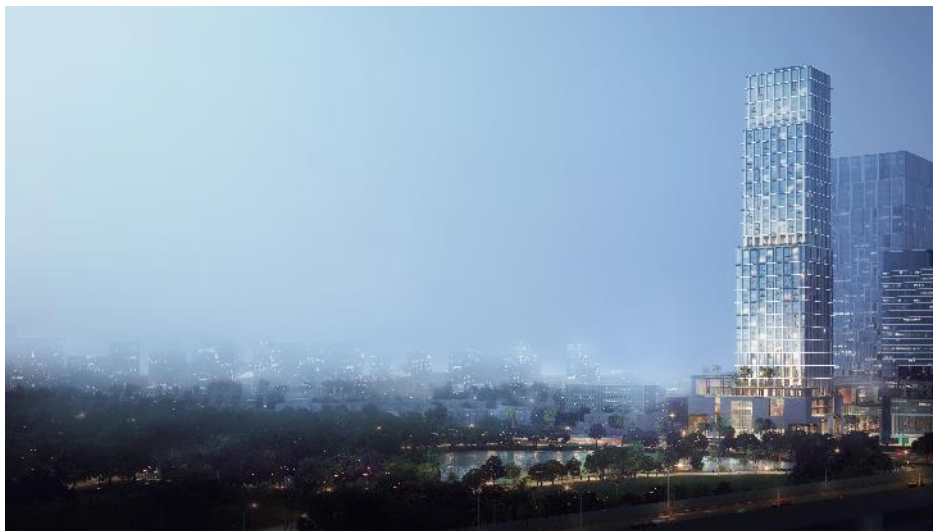


## PRESS RELEASE

2019年5月8日

**マリオット・インターナショナルとワン・バンコクが  
バンコク初となるリッツ・カールトンホテルの開業合意に達したことを発表  
～259室を有する当ホテルは、タイの首都でのダイナミックなライフスタイル開発プロジェクト、  
『One Bangkok』内に建設予定～**

マリオット・インターナショナル(本社:米国 メリーランド州、社長兼最高経営責任者:アーニ・ソレンソン)は、TCC アセット(TCC Assets)とフレイザーズ・プロパティ(Frasers Property)によるジョイントベンチャーであるワン・バンコク(One Bangkok CO., Ltd.)とともに、ダイナミックな都市・バンコクにおいて初となるリッツ・カールトンホテルを開業する合意に達したことを発表いたしました。「ザ・リッツ・カールトン バンコク」は、『One Bangkok(ワン・バンコク)』というバンコクの商業エリアの中心で開発中の50階建てのライフスタイル施設内に2023年に開業する予定で、既に建設を開始しています。



「当社は、現在2軒のリッツ・カールトンのリゾートホテルを展開するタイにおいて、今度はダイナミックな首都であるバンコクに初となるリッツ・カールトンが開業予定であることを発表でき、大変嬉しく思います。バンコクの中でも特にエキサイティングな One Bangkok という地区にリッツ・カールトンを展開することは、当ブランドの贅沢な部屋、ワールドクラスのサービスと食体験を追い求める Marriott Bonvoy の会員の皆様、観光客、ビジネス目的の旅行者や地元の方々に向けた当社のラグジュアリーポートフォリオにとって大変重要な位置づけとなります。」(マリオット・インターナショナル アジア太平洋 社長兼マネージングディレクター、クレイグ・スミスコメント)

ザ・リッツ・カールトン バンコクは、名高いワイヤレス通り(Wireless Road)に位置し、2022年のオープンが予定されている『One Bangkok』内の建設が決定しており、活気あるライフスタイルを提案する新たなグローバルランドマークとなる One Bangkok では、これまでにないリテラーや、最高級のダイニングに加え、一流の商業オフィスやレジデンス、最先端の設備、そして年間を通して開催される芸術や文化イベントをすべて持ち合わせる予定です。建物の25階までを占める当ホテルのゲストルームは、ルンピニー公園のパノラマビューを提供いたします。One Bangkok として完全統合された地区の緑豊かで開放感のある広々としたスペースにより、ザ・リッツ・カールトン バンコクを賑やかな都会の中心に現れるユニークなおアシスのように演出します。

「ザ・リッツ・カールトンおよびマリオット・インターナショナルと手を携え、バンコクで最高峰の贅沢なおもてなしをお届けすることに大変わくわくしています。現代のライフスタイルの求めるすべてをたった一カ所でゲストにお届けできる One Bangkok 内でこのアイコン的なラグジュアリーブランドをお見せできる日を楽しみにしています。ザ・リッツ・カールトンの象徴的なサービスは、私たちが One Bangkok でレジデンス、商業ワークスペース、ライフスタイルショップやレ

レストランに向けて提供しようとしている、優れたオペレーションやサービスの基準となるでしょう」(One Bangkok 開発 CEO、スーン・スリン氏のコメント)



【サインセレモニーの様子:(写真左から)One Bangkok 開発 CEO スーン・スリン氏、フレイザーズ・プロパティグループ CEO、パノーテ・シリワタナパクディ氏、マリオット・インターナショナル アジア太平洋 社長兼マネージングディレクター クレイグ・スミス、アジア太平洋地域(中国を除く) チーフオペレーティングオフィサー ラジーブ・メノン】

ザ・リッツ・カールトン バンコクは、32 室のスイートと 25 階に位置する極上のザ・リッツ・カールトン・スイート 1 室を含む 259 室のエレガントなゲストルームを予定しております。現代的なスタイルとタイ独自の文化を融合し、アーバンリゾートとしてデザインされた当ホテルは、4 つのレストランやバー及びフィットネス施設を備えています。また、6 つのトリートメントルームのほか、ウェット・ラウンジ、ジャグジー、サウナ、スチームルームを備えたシグネチャーであるリッツ・カールトン・スパも、宿泊ゲストに限らずホテルにご滞在でないゲストの皆様の双方に向けてご用意する予定です。また、宴会施設も完備する予定で、ボールルームはタイ最大規模となる予定です。

ザ・リッツ・カールトン バンコクは、タイにおいては初となる都市に位置するリッツ・カールトンホテルとなる予定で、タイ国内でザ・リッツ・カールトン・コサムイとプーレイ・ベイ、ア・リッツ・カールトン・リザーブに続き、3 軒目の同ブランドホテルとなります。マスターカード・グローバル・デスティネーション統計によると、バンコクは過去 3 年間でグローバルにおいて最も訪れられた都市となっており、ニューヨーク、ロンドン、東京、パリを上回ります。バンコクは、特に中国人をはじめとし、アジア地域での人気スポットでもあります。

現在マリオットはアジア太平洋地域において、26 軒のリッツ・カールトンのホテルを含む 132 軒のラグジュアリーホテルを運営し、今回の当ホテルを含む 90 軒近くのホテルが今後開業を控えております。今回の契約は、アジア太平洋地域において拡大を続けるマリオットのラグジュアリーポートフォリオをさらに活気づけることとなります。

###

### **One Bangkok について**

One Bangkok(ワン・バンコク)は、1 兆 2 千億タイバーツ(約 4 兆円)をかけた完全統合地区であり、ワイヤレス通りとラマ 5 世通りが交差する 16 万 7 千㎡にも及ぶ広大な敷地内に、5 つのグレード A のプレミアムオフィスオフィスビル、5 つのラグジュアリー及びライフスタイルホテル、3 棟のラグジュアリーレジデンスタワー、4 つの連結した小売商業施設、芸術・文化ハブから構成される、タイ史上最大の民間企業による土地開発となります。One Bangkok は、Neighbourhood Development Platinum プロジェクトにおいて、タイ初の LEED (Leadership in Energy & Environmental Design) 認証を取得することを目標としており、タワー群は LEED 及び WELL プラチナグローバルスタンダードのもと建築され、タイ国内の緑豊かでサステイナブルな開発に向けた新たな基準を設置していきます。第一フェーズは 2022 年内のオープンを予定しており、2025 年にすべての施設が完成予定です。One Bangkok は、TCC Assets (タイ) Co., Ltd. と Frasers Property Holdings Thailand が共同で開発しています。

One Bangkok についてのより詳細な情報は、<http://onebangkok.com> をご参照ください。

### **TCC Assets (Thailand) Company Limited について**

TCC Assets (Thailand) Company Limited (以下 TCC Assets)は、投資持株会社であり 100 億タイバーツの資本金を有する完全統合型不動産会社です。2013 年に法人化され、タイで最も著名な複合企業、TCC グループの一員です。子会社や関連会社とともに、TCC Assets はホスピタリティ及びテクノロジー関連サービスのほか、レジデンスや商業施設、リテール施設のポートフォリオを保有しています。TCC Assets についてのより詳細な情報は、[tccassets.com](http://tccassets.com) をご覧ください。

### **Frasers Property Limited について**

Frasers Property Limited (フレイザーズ・プロパティ — 「フレイザーズ・プロパティ」及びその子会社、以下「グループ」)は、多様かつ統合された不動産ポートフォリオの所有、開発、運営を手掛ける多国籍企業です。シンガポール証券取引所 (SGX-ST) のメインボードに上場し、本社をシンガポールに置く当グループは、2018 年 12 月 31 日時点で約 330 億シンガポールドルの資産を所有しています。

Frasers Property の資産は、オーストラリア、中国、ヨーロッパ、東南アジアにおいてレジデンス、リテール施設、商業施設、ビジネスパークから、物流、工業に至るまで多岐にわたります。当社の定評あるホスピタリティビジネスでは、アジア、オーストラリア、ヨーロッパ、中東、アフリカにおける 80 以上の都市でサービスアパートメントやホテルを所有および/または運営しています。当グループは、お客様とステークホルダーの皆様に豊かで思い出深い体験を届けるということに尽力しており、複数の資産クラスにおいて価値を提供できるよう、市場や不動産セクターをまたいだ知識や能力を最大限に活用しています。

Frasers Property は、3 つの不動産投資信託およびシンガポール証券取引所に上場しているステープル信託のスポンサーでもあります。Frasers Centrepont Trust、Frasers Commercial Trust、Frasers Logistics & Industrial Trust は、リテール、商業、物流、工業不動産がそれぞれ専門であり、Frasers Hospitality Trust (Frasers Hospitality Real Estate Investment Trust と Frasers Hospitality Business Trust で構成)は、ホスピタリティ不動産が専門のステープル信託です。

Frasers Property に関するより詳細な情報は、[fraserproperty.com](http://fraserproperty.com) をご覧ください。

### **ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー について**

米国メリーランド州チェビー・チェイスに本社を構えるザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーL.L.C.は、現在 30 の国と地域において 100 軒以上のホテルと 45 軒以上のレジデンスを運営しています。各ホテルの詳細、およびご予約、最新情報に関しては、ザ・リッツ・カールトンの公式ウェブサイト ([www.ritzcarlton.com](http://www.ritzcarlton.com)) をご参照ください。[Facebook](#)、[Twitter](#)、[Instagram](#) でも情報発信しており、ソーシャルメディアでリアルタイムに繋がるには、ハッシュタグ#RCMemories をぜひご利用ください。ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーL.L.C.は、マリオット・インターナショナル (NASDAQ: MAR) の完全子会社です。ザ・リッツ・カールトンは、これまでのマリオット リワード、ザ・リッツ・カールトン・リワード、スターウッドプリファードゲスト (SPG) に代わり新たに誕生したマリオットの旅行プログラム、Marriott Bonvoy (マリオット ボンヴォイ) に参加しています。Marriott Bonvoy は会員の皆さまに並外れたグローバルブランドポートフォリオや Marriott Bonvoy Moments での体験、そして無料ホテル宿泊に向けたポイントやエリートステータス昇格に向けた泊数獲得を含む、比類なき特典をお届けします。無料会員登録やプログラム詳細については、[MarriottBonvoy.marriott.com](http://MarriottBonvoy.marriott.com) をご覧ください。

### **報道関係者からのお問い合わせ先**

マリオット・インターナショナル

鄭 紀世 (チョン キセ) tel.03-5423-4817 fax.03-5423-4823 e-mail: [kise.cheong@marriott.com](mailto:kise.cheong@marriott.com)